

問 16 【生活・環境】分野の施策に対する「現在の満足度」と「今後の重要度」

施策項目	施策の目標・基本事業	現在の満足度	今後の重要度
①安全な暮らし	<p>【施策の目標】 すべての町民が、安心して日々の生活を送ることができるよう、防犯対策や交通安全の推進、各種相談・支援体制の充実に努め、安全・安心なまちづくりをめざします。</p> <p>【基本事業】 ・防犯対策の推進・交通安全の推進・平和活動の推進 ・消費生活・町民相談の充実</p>	56.9%	77.9%
②防災	<p>【施策の目標】 東日本大震災を教訓に「防災」対策に加え、被害を最小限に軽減する「減災」の視点から、常日頃より災害に対する意識を高め、「自助」「共助」「公助」の役割分担と相互の連携による地域社会が一体となった防災体制の構築を図り、誰もが安全で安心して暮らせるまちづくりを進めます。</p> <p>【基本事業】 ・総合的防災体制の確立・災害応急対策の充実 ・防災教育の推進・災害に強いまちづくり</p>	52.8%	83.6%
③治水・海岸保全	<p>【施策の目標】 高波や高潮、越波などの海岸被害、河川の氾濫や洪水による被害から町民の生命や財産を守り、また、海岸線の侵食被害を防止し、国土を保全するため、海岸保全対策を推進するとともに、河川等の環境整備による治水対策を促進します。</p> <p>【基本事業】 ・海岸保全の推進・治水対策の推進</p>	52.4%	80.9%
④消防・救急	<p>【施策の目標】事故や火災等から町民の生命や財産を守るため、地域ぐるみの火災予防思想の普及や防火安全対策の強化を図り、火災予防を推進します。 また、消防・救急体制の強化や救助技術などの習得による消防職員の資質の向上、施設・設備の近代化や高度化を図り、町民が安全で安心して暮らせるまちづくりを進めます。</p> <p>【基本事業】 ・消防体制の充実・火災予防対策の充実・救急救助体制の充実 ・消防団体制の充実</p>	63.6%	82.8%
⑤環境保全	<p>【施策の目標】 豊かな自然環境を保全するとともに、温室効果ガスの排出削減に向け、環境に対する意識の普及啓発、省エネルギーやごみの減量・資源化を進め、環境への影響に配慮した循環型の地域社会づくりをめざします。</p> <p>【基本事業】 ・計画的な環境行政の推進・資源循環型社会の形成 ・自然との共生・公害の未然防止・地球温暖化対策の推進</p>	54.8%	74.9%
⑥環境美化・衛生	<p>【施策の目標】 町民、事業者、行政がそれぞれの役割を果たしながら、景観や衛生に配慮した清潔で美しいまちづくりを目指します。 また、町民が安全、快適に暮らせるように公衆衛生の確保やモラル・マナーの向上を推進します。</p> <p>【基本事業】 ・特色ある景観の形成・環境美化の推進・生活衛生の確保 ・愛がん動物の適正飼育の推進・火葬場、墓園墓地の適正管理</p>	52.8%	70.6%
⑦公園・緑地	<p>【施策の目標】 みどり豊かな潤いある町民生活と憩いの場を保全・創出するため、公園や緑地、広場などの整備と維持管理を計画的に進めるとともに、町民による緑化活動を支援し、行政と町民などの協働により、地域と連携した花と緑の環境づくりを進めます。</p> <p>【基本事業】 ・公園・緑地の保全と整備・参加と協働による緑化の推進</p>	54.8%	68.8%

施策項目	施策の目標・基本事業	現在の満足度	今後の重要度
⑧土地利用・住環境	<p>【施策の目標】 将来にわたり持続的な地域社会を構築するため、自然との調和や人とまちのつながりに配慮した総合的・計画的な土地利用を進めます。 また、安全・安心で快適に住み続けることができるよう、社会環境や多様なニーズに応じた良質な住宅や公営住宅などの整備を推進します。</p> <p>【基本事業】 ・土地利用の推進と適正配置・安全で快適な住まいづくり ・公営住宅、町有住宅の整備・移住、定住の促進</p>	46.7%	69.8%
⑨上水道	<p>【施策の目標】 生活基盤の柱の一つである水道水の安全・安定な供給体制確保のため、水道施設の適切な維持・整備を進めるとともに、水道事業の健全経営に努め、安全でおいしい水の安定供給を図ります。</p> <p>【基本事業】 ・安全で安心な水道給水の充実・利用者の信頼性の向上 ・水道事業の健全な経営</p>	65.1%	79.6%
⑩生活排水処理	<p>【施策の目標】 生活排水を適切に処理することにより、衛生的な生活環境を保持するとともに、河川や海などの水質を保全し、美しく快適な居住環境を創出します。</p> <p>【基本事業】 ・安全で快適な公共下水道の整備・し尿、生活排水処理の充実 ・下水道事業の健全な経営</p>	61.8%	77.7%
⑪道路	<p>【施策の目標】 地域産業や経済の活性化、快適で利便性の高い交通ネットワークの形成を図るとともに、災害等緊急時の迅速な避難・救助活動を支えるため、幹線道路や生活道路の整備、適切な維持管理を行い、安全で快適な道路環境づくりを進めます。</p> <p>【基本事業】 ・広域幹線道路の整備促進・町民生活を支える町道の整備 ・町道、橋りょう等の維持管理の充実</p>	49.8%	74.9%
⑫公共交通機関	<p>【施策の目標】 町民の日常生活における身近な移動手段を確保するため、関係機関との連携により、利便性の高い、魅力ある公共交通の維持・確保を促進するとともに、利用者ニーズにあった公共交通サービスの提供に努めます。</p> <p>【基本事業】 ・公共交通ネットワークの維持、確保 ・日常生活を支える移動手段の維持、確保</p>	43.0%	76.4%
⑬情報通信	<p>【施策の目標】 情報通信の利用機会・地域間格差を改善し、豊かな町民生活の実現や地域社会の活力ある発展を図るため、情報通信基盤整備を促進するとともに、情報通信技術を活用して、行政事務の効率化と高度化を推進し、町民サービスの向上に努めます。</p> <p>【基本事業】 ・情報通信基盤の整備・地域情報化の推進 ・難視聴地域の解消促進</p>	51.2%	67.8%

※参考 「満足度」と「重要度」の算出方法

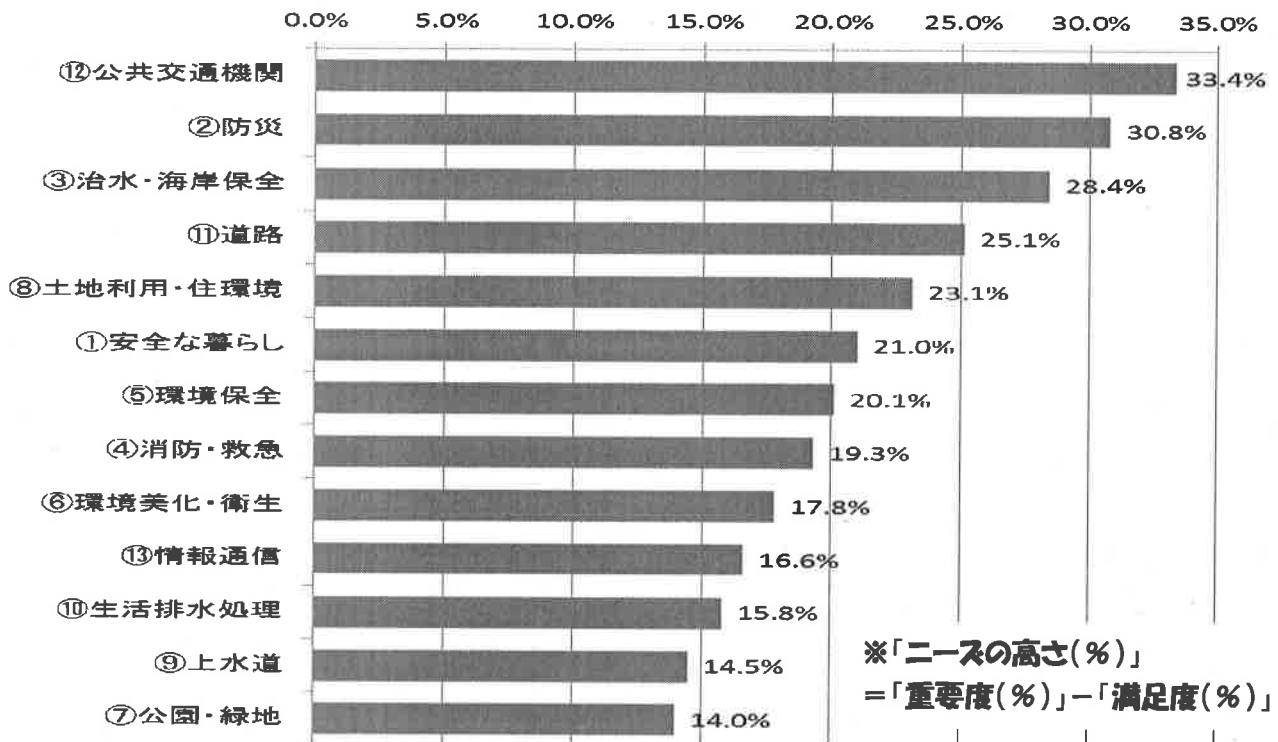
各施策に対する満足度及び重要度は、それぞれ1～5の5段階評価による回答をいただきました。配点を「1(満足・重要)=100%」、「2(まあ満足・まあ重要)=75%」、「3(どちらともいえない)=50%」、「4(少し不満・あまり重要ではない)=25%」、「5(不満・重要ではない)=0%」とし、算術平均により、「満足度(%)」と「重要度(%)」を算出しています。

≪計算式≫(「1」回答者数×100%+「2」回答者数×75%+「3」回答者数×50%+「4」回答者数×25%+「5」回答者数×0%)÷全回答者数

【生活・環境】分野の施策に対するニーズの高さ※

★【生活・環境】分野において、最もニーズが高くなった施策は⑫公共交通機関となり、次いで②防災、③治水・海岸保全、⑪道路となりました。

★第1領域(今後特に力を入れるべき施策)に入っているのは、⑧土地利用・住環境、⑪道路、⑫公共交通機関の3施策となっています。



＜満足度・重要度の分布図＞

